

トレーニングレポートの活用

～コミュニケーションとアセスメント(SOAP)の訓練～

株式会社 トマト
菊田 基

コミュニケーションとアセスメントの訓練方法

1. ロールプレーニング
2. すべての服薬指導を指導者が見て指導する
3. すべての薬歴を読んで指導する
.....コスト(時間、人件費、場所)がかかる
4. 症例検討会
5. トレーシングレポート(TR表)
.....日常の業務内で簡単に実施可能
服薬状況だけでなく患者の訴えを伝える

今回は昨年4月から9月までの間に常勤薬剤師15名から提出された59通を分析してみた

症例1 文章に工夫が必要と思われる症例でアセスメントにも

問題か？（6月2日）

処方内容

1. セロクラール錠20mg 3錠 毎食後 14日
2. アルマール錠5mg 2錠 朝夕食後14日

他科受診 K整形外科

併用薬 ホクナリンテープ

コメント

他科受診にて気になりご報告致します。整形外科でホクナリンテープをもらっている

ようです。患者様は風邪からきている咳で、貼っているのでひどくは無いとあまり気にされていないようでした。それで、アルマールの副作用にも咳があること

を説明し、咳が続くようなら先生に相談して頂くようお願い致しました。
宜しくお願い致します。

「話し合った内容」

1. 薬歴を見るとアレルギー歴、特記事項に記入は無いが、もともと喘息を
持っていて風邪による咳とβブロッカーの服用により咳が止まらなくなった
のではないかと。再度喘息の有無を確認する必要があると思われる。
2. アルマールの副作用でも咳がありますという説明は、患者のなかには誤
解をまねく可能性があり、文章を修正する必要がある。

「結果」

翌月に喘息を確認するも既往歴なし、気管支炎であると言われていた。そこ
でTR表を
医師に提出。→医師の反応はなかった。しかし、2ヵ月後アルマールは中止と
なった。

「TR表の効果」

提出時は、医師の反応がまったく無く虚しかったが、経過を見る限りでは結果
として
は良い方向(咳嗽軽減しつつある)に向かったと考えられた。

症例2 訴えの連絡により脳梗塞が発見された例(9月12日)

処方内容

- | | | | |
|------------|-------|----|------|
| 1. ザイロリック錠 | 100mg | 2錠 | 朝夕食後 |
| 2. アーチスト錠 | 10mg | 1錠 | 夕食後 |
| 3. グルコバイ錠 | 100mg | 3錠 | 毎食前 |
| 4. アダラートCR | 40mg | 1錠 | |
| ラシックス錠 | 20mg | 2錠 | 朝食後 |

併用薬

整形にてメチコバル、ロキソニン、マーズレンS、ノイロトロピン

コメント

患者様より、**昼から夜にかけて、足の裏がジンジンしたり、カァーと燃えるような感じ**があるとの訴えがありました。糖尿病からくる神経障害の可能性もあること、そのためにも血糖コントロールの必要性があることなどをお話しました。先生にはそのことをお話したことは無いとのことで、次回相談してみてくださいと言いましたので前もってご連絡いたします。

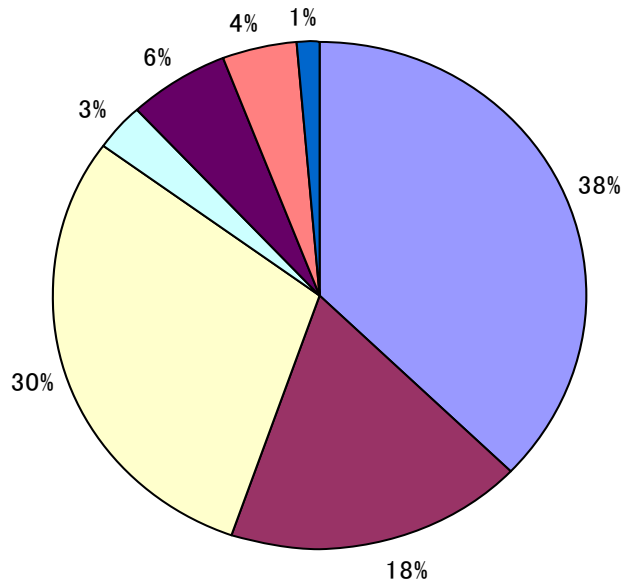
「話し合った内容」

そのまま提出しても問題はないと考えられる。しかし、注意する点は、足裏症状に対して薬剤師が病名推測している点は気になるが、この内容程度なら大丈夫だろうと話し合った。

「結果」

次回来局時に確認すると県病院内科を紹介され、整形かもしれないとも言われたとのこと。そこで県病院受診の結果、軽い脳梗塞が発見される。現在は、脳梗塞治療を優先している。

TR表内容



即提出 38%

文章に工夫の必要のあるもの 18%

アセスメントが不十分なため再指導後に判断する 30%

治療を理解していない 3%

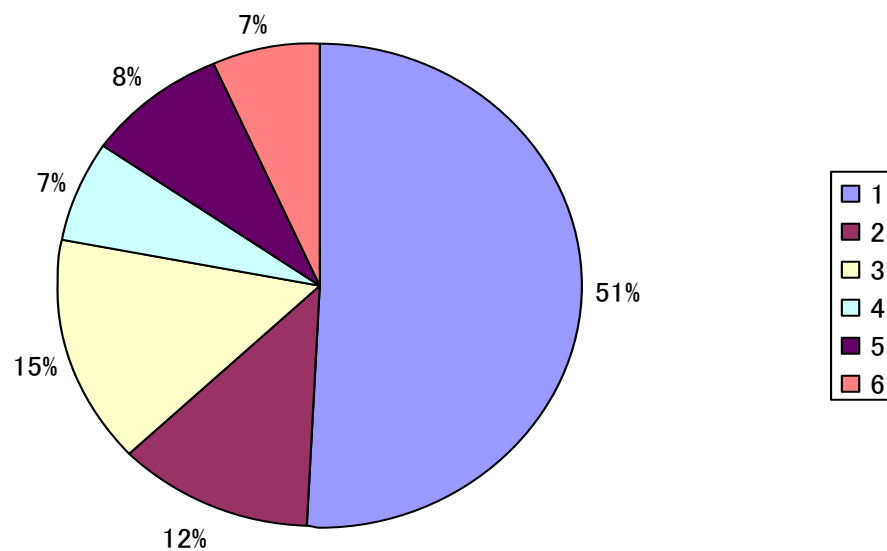
指導そのものに修正が必要 6%

治療に踏み込んでいる 4%

疑義紹介 1%

60%が介入の必要な内容

TR表提出後



解決 51%

未解決 12% (医師に未提出)

患者が訴えをしなくなる
15%

経過観察中 7%

来局しなくなった 8%

医師の対応が不明 7%

まとめ

TR表の問題点

- 1、うまく文章が書けない
- 2、S情報がうまく得られない
- 3、TR表を出しても、Drが対応、改善してくれない
- 4、患者から薬局で話すが、「Drには言わないで」と言われるのでTR表には書けない
- 5、患者の不安・不満のなかには、その場だけの訴えが必ずあるので選択が難しい

TR表応用の感想

- 1、患者個々に対して具体的にコミュニケーションの取り方を検討することができる。
- 2、アセスメントの訓練につながる。
- 3、医師からも「こういったことをコツコツとやってほしい」と言われたので、継続してやっていきたい。
- 4、流れのある指導と薬歴を身に付けるためのわかりやすい訓練は、対象患者のクローズアップが必要と思われる。
TR表は、薬剤師が集まらなくてもできるので有用である。
- 5、問題点の解決の練習なので、これからの長期実習でも必要な練習ではないかと思います。